



いのちのひろば

Vol. 243
2020.3.25

- 1面 新産科病棟の手術機能が高まりました
- 2面 産科緊急対応の充実を目指して
- 3面 地域医療連携「整形外科 なかむらクリニック」
- 4面 高槻病院にはどんな医師がいるの？
ロゴマークが変わりました



新病院の分娩室は全室LDRタイプにリニューアルされ、陣痛から分娩まで、お母さんが移動す

ハイリスク分娩室の設置

新病院に移転する前から、産婦人科では、年間約450件ある帝王切開の大半を、産科病棟内の帝王切開室でおこなってきました。このおかげで、分娩室や病室でお母さんや赤ちゃんが急変しても、中央手術室に移動することなく、速やかに帝王切開をすることができました。産科病棟が新病院に移り、さらに産科病棟の手術機能を高めることができましたので、ご紹介します。

手術機能が

高まりました

これまで、帝王切開室では、産科スタッフを中心に手術を行ってき

産科超緊急コード「グレイードA」の導入

ることなく、同じ部屋でお産できるようになりました(写真1)。しかし、当科では、双子のように、リスクの高いお産を扱うことも多いので、手術室と同等の機能を持つ分娩室として、ハイリスク分娩室を新たに設置しました(写真2)。ここでは、帝王切開に必要な設備は全て備えられていて、お産中に赤ちゃんの心拍数が低下して、すぐにお産をしないといけない時でも、お母さんが分娩台から動くことなく帝王切開することができ



感じていました。そこで、産科超緊急コード「グレイードA」を、院内に導入しました。緊急時に、病院内の人員を呼び集める合図に「コードブルー」があります。(山下智久さん主演のドラマで有名です)。「グレイードA」はその産科版にあたり、急変したお母さんや赤ちゃんの救命のために、多数の医療スタッフが必要な場面で発動されます。この産科超緊急コード「グレイードA」はすでに何回か発動されていますが、速やかにスタッフが集まり、緊急事態にスムーズに対応していま



総合周産期母子医療センター長

中後 聡



産科

緊急対応の

充実を目指して

5階東病棟看護科 主任 松下 奈美
MFICU 看護科 主任 大藪 裕子



2018年に産科超緊急コード「グレードA」のシステムが導入され、緊急事態に迅速に対応できるようになりました。しかし、集結した一人一人が専門性を発揮し、母子の救命のためONE TEAMとなって対応するには、日々の訓練が必要であることを痛感しています。そこでグレードAのシミュレーションを定期的に行って、それぞれの役割を確認・評価し、より安全に迅速に緊急事態に対応できるように取り組んでいます。

一方、当院ではリスクの低い妊産婦を対象に、母子が本来持っている力を信じ、その力を最大限引き出せるように支援することを目的とした院内助産センターがあります。妊産婦が主体となって妊娠出産を乗り越え自分らしい育児ができるように、助産師が中心になって妊婦健診やお産の援助・育児支援を行っています。

しかし産科特有の疾患は急変の予測が難しく、リスクの低い妊産婦であっても発症すれば数分で母子の生命が危険な状態になることがあります。院内助産センター対象の妊産婦でも急変時はグレードAのシステムにより迅速に対応することができます。

当院は新病院となって設備や機能が増え、緊急事態に対応できるための手術機能も高まりました。また院内助産センターのようにリスクの低い妊産婦からリスクの高い妊産婦まで幅広く利用して頂いている病院です。私たち産科スタッフは集中的なケアや緊急事態に対応できる実践力の向上と、リスクに関わらず全ての妊産婦に、母子の力を引き出す支援を行うように日々努めています。



▲グレードA シミュレーションの様子



一人一人に オーダーメイドの リハビリを



●開業の経緯

勤務医時代にバスケットボールなど、プロスポーツのチームドクターをしており、その中で怪我の治療だけでなく予防も積極的に行う必要があると感じ、理学療法士やトレーナーと協力し、安心してリハビリを受けていただけるクリニックを作りたいたいの思いから、以前は真上町で開業しておりました。

体の動かし方が悪い、もしくは痛いところをかばっている為に違うところに負担がかかり痛みが出てくるなど、何が原因で痛みが引き起こされているのかを突き止めるためにも、きちんと体の動きを評価していくことが患者さんの治療、または予防に繋がることだと思います。そこで、より治療効果を高め患者さんが安心して日常生活を送ることができるよう、郡家本町へ移転し、以前より広いリハビリスペースを確保し、トレーニングができるフィットネスジムLAFIT(ラフィット)を併設したクリニックを開院しました。

●専門分野

膝の人工関節手術や外反母趾手術などの一般整形外科領域及び、スポーツ整形に必要な肘、肩、膝、足首の関節鏡下手術(ACL再建術、肩の脱臼、腱板の手術、半月板縫合等)が専門ですが、日本スポーツ協会のスポーツドクターとしても活動をしていますので、運動時の痛み

や怪我に対してもお気軽にご相談いただければと思います。

●クリニックの特徴

当院は急な腰痛や怪我をした患者さんのため予約制はとっていません。院内はすべてバリアフリーで小さなお子さん連れの方にも受診しやすいようキッズルームやトイレにはおむつ交換のためのベッドがあります。中・高生が待ち時間に利用ができるよう、デスクとして利用できるスペースも設けています。

1階の診療スペースには骨密度測定機器や、患部に衝撃波を当てて疼痛をとる新しい治療法である、体外衝撃波の機器も導入しました。体外衝撃波は難治性足底腱膜炎に有効であり、保険診療で治療を受けることができます。

2階のリハビリ室には5名の理学療法士が在籍しており、物理療法と言われる機器を用いた治療だけでなく、お悩みの症状に対して医師の指示のもと、治療・サポートを行い、広々とした空間でリハビリの施術を受けていただくことができます。

また2階には会員制で有料となりますが「メディカルフィットネスLAFIT(ラフィット)」を併設しており、スポーツをされている方への予防のため、そして治療後の方にも安心して運動を行っていただくためのサポートを目的としたトレーニング施設の利用をお勧めしています。全日本で活躍されているスポーツトレーナーと共に勉強し

たトレーナーが全身の身体機能を評価の上、個別のプログラムを作成し、患者さんに沿ったトレーニングを提供しています。更衣室とシャワールームも完備しており、朝9時から夜9時までスポーツをしている学生から病氣予防のために通われている高齢者まで、たくさんの方にご利用いただいています。

●高槻病院への要望

私の専門外の疾患がある患者さんの受け入れをして頂きありがとうございます。いつも丁寧な検査結果も送っていただきとても助かっています。

中村先生、お忙しい中、快くインタビューを受けて頂きありがとうございました。

健康の為にトレーニングジムに通い怪我をする方が日本人には多いと伺いました。トレーニングは体に負荷をかけ筋肉を壊し休息をとる事で筋肉を修復・増強しますが、日本人は勤勉なため、休まずトレーニングをしよう事で筋肉が細くなり怪我を招いてしまうそうです。そのため中村先生はクリニックが休診の日も、けがを予防するための正しい知識やトレーニング方法などを啓発する講習会を開催されています。先生の目指す医療のお役に立てるよう、患者さんに寄り添った連携に努力して参りますので今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

地域医療部 大園・阪田

INFORMATION



整形外科 なかむらクリニック

〒569-1131 大阪府高槻市郡家本町40-12

TEL.072-685-8637

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~16:00	内科	整形外科		整形外科	内科	
17:00~20:00	○	○	×	○	○	×

受付時間：午前診 8:30~11:30、午後診 16:30~19:30
休診日：水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

高槻病院には doctor Introduction

どんな医師がいるの？

| vol.3 | 呼吸器外科 主任部長 椎名 祥隆 先生

専門分野

呼吸器外科では主に肺癌・気胸・縦隔腫瘍・膿胸等の外科治療を行っています。肺癌は命にかかわるこわい病気ですが、早い時期の肺癌は手術により完全に治る可能性があります。当科ではほとんどの手術がスコープを用いた「胸腔鏡手術」で行われます。これは身体への負担を軽減し、創部も小さいため痛みも少なくなります。外来では、これらの手術の説明をわかりやすいように絵や写真を用いています。



プライベート

日本酒が大好きです。広島・西条の酒蔵が醸す酒が美味しいことに昨年気づきました。そのため西條に1泊で行き、数々の酒蔵が形成する美しい街並み(写真右)を訪ね、試飲し、お酒を買ってきました。元から好みは熱燗で、寒い夜は旨さがひとしおなので楽しみです。



患者様へのメッセージ

身体にやさしい胸腔鏡手術を用いることにより、毎年80歳以上の御高齢の患者様や複数の合併症のある方にも手術も行っています。一方、適宜、呼吸器内科・放射線治療科・病理科等と連携して治療を進めています。これからも安全で質の高い診療を行っていきたくと考えています。

次号は 総合内科 主任部長 筒泉 貴彦 先生 よろしくお願ひします！

高槻病院の ロゴマークが変わりました！

この紙面や高槻病院の入口でも使われていますが、高槻病院のロゴマークが変更となりました(図1)。皆さまお気づきでしたでしょうか。

企業においてロゴマークは商品やパッケージ、印刷物など、自社ブランドのイメージを表すものとして使用されています。高槻病院でもそのようにシンボルとなるロゴマークを持ちたいという思いから、デザイナーの方に依頼し制作していただきました。新しいロゴは二つの四角形を組み合わせ、中央に「8」のシルエットを配置する斬新なデザインです。この四角形は芸術の分野で古来より広く使われる形状であり、美しく無駄のない比率といわれている「黄金比」と「白銀比」で作成されています。また「8」は無限(∞)と、扉を開くための鍵穴のイメージを込めています。

一部ではひそかに「雪だるま」とも呼ばれている新ロゴマーク、これから高槻病院のあちこちでご覧いただけるとは思いますが、高槻病院のシンボルとして浸透し、末永く可愛がっていただければ幸いです。



図1 高槻病院入口

社会医療法人 愛仁会 高槻病院

■高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」

■患者さまの権利

1. 患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医師等との信頼関係の下で、目鼻で安全、公正な医療を適切に受ける権利があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
3. 理解できるわかりやすい説明を受けたのち、検査の可否や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。

■患者さまの責務

1. 患者さま自らの健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、理解できるまで質問をする責務があります。
3. すべての患者さまが良質な医療で安全な医療を適切に受けることができるように、他の患者さまの診療や病院の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

- 愛仁会リハビリテーション病院 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号 ☎072-683-1212
- しんあい病院 〒569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号 ☎072-681-5533
- しんあいクリニック 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目46番3号 ☎072-668-5000
- 愛仁会高槻在宅サービスセンター 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号
- 訪問看護ステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1876
- ケアプランセンター愛仁会高槻 ☎072-686-1882
- ケアプランセンターケーアイ ☎072-687-2536
- ケアプランセンター愛仁会富田 ☎072-692-2941
- しんあいケアプランセンター ☎072-680-3000
- ヘルパーステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1875
- ヘルパーステーション愛仁会富田 ☎072-692-2942
- 介護老人保健施設ケーアイ 〒569-1051 高槻市大字原112番地 ☎072-687-0103
- 介護老人保健施設しんあい 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目46番1号 ☎072-680-3000
- 愛仁会総合健康センター 〒569-1143 高槻市幸町4番3号 ☎072-692-9291
- 愛仁会看護助産専門学校 〒569-1115 高槻市古曾部町1丁目3番33号 ☎072-681-6031